

花と祭りの郷

ちちぶながとろ
秩父・長瀬

内田 秀之

広大な関東平野に流れる荒川の源流、埼玉県西部に秩父盆地があります。関東自動車道で東京から新潟方面に向かう途中、花園ICに差しかかると左に山が近づいて見えてきます。車で出かけて帰って来ると、いつも「あの山の奥に人の住める所があるのかな？」と実際に住んでいる私でもつい思ってしまう。

秩父地方の面積は埼玉県の四分の一以上ありますが、ほとんど山岳地帯で占められ、わずかな平地に人口が集中しています。少ない耕地や山の斜面を耕し、養蚕を行い、昔から多くの人々が忍耐強く生活を続けてきました。

そのような苦勞の多い土地でも住めば都、四季折々の自然に囲まれた山河は素晴らしく、今では離れられない故郷になっています。

【地形と交通】

その山深い秩父をよく表現したものに

秩父音頭があるので、その一節を紹介します。

へハアーアー アーア アーエー

鳥も渡るか あの山越えて

鳥も渡るか あの山越えて

(コラシヨ)

雲のナー アーア アーエー

雲のさわ立つ アレサ奥秩父

日本百名山の一つ甲武信岳（甲州・武州・信州の境界にあり、その一字ずつを取った）は、標高二、四七五メートルで埼玉県の山としては第二の高峰です。秩父多摩国立公園の中央にあつて、山梨県・長野県・埼玉県の境界にまたがり、山梨県側に笛吹川、長野県側に千曲川、そして埼玉県側には荒川を発する分水嶺でもあります。この荒川が関東平野に流れ出る所までが秩父地方で、さらに下つては東京湾にそそぎます。

交通の発達した現在は簡単に入れる秩父も、ちようどすり鉢のような地形の底にあるので、かつてはいずれの方向からも峠を越えて入るしかありませんでした。

そのため秩父へ入る峠の数は大小合わせて二十三ほどあったと言われます。

その中でも代表的な峠が雁坂峠です。雁坂峠は日本三大峠の一つで、この高く険しい峠道はかつて秩父往還といわれ、甲州から武州へ抜ける峠越しの難所でした。

現在の埼玉県から山梨県へ通じる国道一四〇号は、この険しい山と谷に阻まれて長い間「開かずの国道」といわれてきました。が、平成十年に両県を繋ぐ雁坂トンネルが雁坂峠の下に開通しました。この雁坂トンネルは六、六二五メートルあり、一般国道の山岳トンネルとしては日本一の長さです。

私もこの雁坂トンネル有料道路が開通してから、山梨県への日帰りの観光や登山が可能になり、いろいろ恩恵を受けています。秩父往還は日本の道百選にも選ばれています。また、平成四十年頃には西関東連絡道路（花園ICく雁坂トンネルく甲府市）が整備され、さらに便利になることでしょう。

【秩父礼所】

このような交通不便な秩父地方でも、外からの文化が早くから流れ込んできたのは絹の里として、また観音霊場として多くの人が訪れ、外界の影響を強く受けたためでしょう。

秩父札所三十四カ所は西国三十三カ所、板東三十三カ所を合わせ日本百観音霊場に数えられ、百観音の結願寺もここにあり、江戸時代に庶民の間に観音信仰が広まり、多くの巡礼さんで賑わって各地の文化も多く入ってきたようです。

秩父路に春が訪れ梅が咲きだすころになると、白装束のお遍路さんが一巡約百キロメートルの札所を巡る姿が見うけられます。

この札所の一つに二十三番「音楽寺」があります、歌上達祈願に御利益があるということから歌を志す人や歌手がお参りに来るそうです。またここは明治十七年に起こった農民の武装蜂起「秩父国民党事件」の集結の寺で「秩父国民党無名戦士の墓」が建てられています。

音楽寺の近くに、今では全国各地の卒業式で広く歌われるようになった「旅立

ちの日に」に因んだ「旅立ちの丘」が、秩父市内を一望する長尾根丘陵の一角、秩父ミュージズパーク内に建っています。丘を訪れた人々を「旅立ちの日に」のメロディーで出迎えます。

【武甲山と芝桜】

昔、巡礼さんや絹の商いなどで秩父を訪れた人々が峠に立ったとき、まず目を引くのが兜形の堂々とした勇姿を見せる秩父のシンボル武甲山でした。

この山は全山石灰岩で覆われているため、セメントの材料として大正十二年に採掘が開始され、最近急速に採掘が進み、三〇六メートルの山頂も現在は一、二九五メートルになり、十一メートルも標高が低くなっています。

また、武甲山は日本二百名山の一つですが、この山の麓、羊山丘陵の斜面を利用して九種類四十万株以上の芝桜がパッチワークのように植栽されています。この「芝桜の丘」は、四月中旬から五月上旬にかけて見ごろで、大勢の観光客で賑わいます。

【秩父夜祭】

へハアーアー アーア アーエー

秋蚕あきこ仕舞うて 麦蒔き終えて

秋蚕仕舞うて 麦蒔き終えて

(コラシヨ)

秩父ナー アーア アーエー

秩父夜祭 アレサ待つばかり

秩父は山に囲まれた狭い地域ながら祭りの多い所です。その数や四百五十前後あり、日本一祭りの多い所といわれています。それだけに珍しい祭りもたくさんありますが、特に秩父夜祭は有名です。

秩父音頭の歌詞にあるように、その昔、副業として桑を植え蚕を育て、その繭から糸を紡ぎ絹織物を織って生活を支えてきました。秩父は山国で荒地が多く農作業に適していなかったからです。秩父銘仙として親しまれてきた織物はもちろん、養蚕農家も今ではすっかり衰退しつつあります。しかし、それでも群馬県に次ぎ全国二位。養蚕の伝統を後世に伝えていきたいものです。

養蚕の盛んな頃は春蚕から始まり一

月の秋蚕まで年五回(現在は四回?)行われ、秋の取入れも終わる十二月三日が秩父夜祭です。江戸時代にはこの秩父夜祭で絹の市も立ち、秩父の経済を潤したといわれています。

秩父夜祭は京都祇園祭、飛騨高山祭と共に日本三大曳山祭といわれ、国の重要文化財に指定されています。六基ほどの豪華絢爛な山車が秩父屋台囃子の力強い音に乗って曳き回され、県外からも多くの人々が見物に訪れます。

【観光地 長瀨】

へハアーアー アーア アーエー

花の長瀨 いわだみ あの岩畳

花の長瀨 あの岩畳

(コラシヨ)

誰をナー アーア アーエー

誰を待つやら アレサおぼろ月

秩父地方は山紫水明の自然に恵まれた土地で、特に長瀨は日本観光地百選や日本桜の名所百選にも選ばれ、東京を初め近県から多くの観光客が訪れる景勝の地

になっています。

有名なのは、国の名勝天然記念物である段丘状の自然岩石庭園(岩畳)で、荒川の流れに沿って幅五十メートル長さ八百メートルほどあります。これは結晶片岩が地下の深層部からの隆起によって出現したもので、日本では最も古い岩石です。地質学上貴重な「紅簾石片岩」もこの近くにあり、この辺りの岩石は日本列島の生い立ちを研究する上でも重要で「地球の窓」と呼ばれています。明治十一年に東京大学に地質学が初めて導入され、初代教授のナウマン博士が長瀨を調査しました。以来長瀨は「日本地質学発祥の地」になりました。

この岩畳の下流には上部直径一・九メートル、深さ五・八メートル程の日本一大きい甌穴おうけつもあります。この岩畳を中心に春の新緑、秋の紅葉の頃は特に見事で、多くの人々で賑わいます。

この岩畳の西側に、宝の山に登るという縁起の良い宝登山ほとぎさんがあり、その麓には

大和武尊縁の宝登山神社もあります。一月中旬になると山頂にロウバイが咲き始め、甘い香りを漂わせます。山頂からは百名山の両神山や甲武信岳などの秩父連山が一望され、花と展望を楽しみに県外からもハイキングを兼ねて訪れる人が多くなりました。

このロウバイに限らず「花の長瀨」と歌われるように梅・カタクリ・桜・ツツジ・ヤマブキ・ポピー・ハナビシソウと春の花から始まり秋の七草・コスモス・紅葉まで一年中花が絶えません。

冬の間は静かなたたずまいを見せますが、三月になり草木の芽吹きが始まると急に活気に満ちてきます。そして長瀨ライン下りと、SL列車の運転が始まります。

【都心から一番近いSL】

埼玉県北部から西部にかけて走っている秩父鉄道。ここで最近人気なのが、パレオエクスプレスという名前のSL(蒸気機関車)です。春の行楽シーズンとも運行され、秩父路を一日一往復します。熊谷駅から三峰口駅までの約六十キ

ロメートルを二時間半ほどかけて、ゆつくりと走っています。停車駅では写真撮影ができ、子どもたちが大変喜ばれています。

因みにこのパレオエクスプレスとは千三百万年前に全滅した「パレオパラドキシア」という恐竜の化石が秩父で発見されたことに由来するものです。

パレオパラドキシアは海辺に住んでいた恐竜で、昔秩父の辺りは海の入り江だったそうです。それを証明する貝の化石などが各地で沢山出土します。

SLに乗り秩父に入れば、沿線には川あり山あり溪谷ありで、変化に富んだ風景はきつと乗車された方を満足させることでしょう。

その秩父の山奥には熊・カモシカ・鹿・猪・猿など、まず本州にいる動物のほとんどが棲んでいるのではないかと思えます。この観光地長瀬の近くでさえ、熊が出たとか猪に畑を荒らされたとか、体当たりされて怪我をしたとかいろいろな話を聞きます。

乗り物では、長瀬の荒川を舟で下るラ

イン下り、ラフティングやカヌーも体験できます。

【和同開珎と美の山】

秩父の歴史を語るとき、忘れてはならないもの一つに「和同開珎」があります。

それは今から一三〇〇年前、元明天皇の慶雲五年(七〇八年)に、この秩父の里から自然銅が採掘され、時の大和朝廷に献上したところ天皇は大いに喜ばれて、年号を「和銅」と改元されました。この銅を使つて鑄造されたのが、日本最古の通貨と言われた和同開珎です。現在では、富本銭が最古といわれていますが、実際に流通したのかは不明とされています。

長瀬から秩父へ向かう国道一四〇号の左手に、県立公園に指定された関東の吉野山と言われる桜の名所「美の山」があります。この山の西側の岩肌に「和銅」と遠目にも分かる、大きく彫られた文字があり、その裏山に銅を露天掘りした採掘遺跡があります。

銅の採掘場は秩父郡のかなり広い範囲にわたっており、私の住んでいる長瀬町

にも「西浦採銅抗」という坑道がありますが、崩壊も無くほぼ完全な状態で原形を留め、町指定文化財になっています。

■おわりに

平成二十一年三月末から始まったNHK連続テレビ小説「つばさ」の舞台は埼玉県越市ですが、私の住む長瀬町も舞台の一つとなります。埼玉は意外と全国上位の観光スポットがあるようです。

「つばさ」の舞台の川越は倉敷・近江八幡に続き、蔵作りの街並み人気投票で三位。

ライン下りでは保津川、四万十川、天竜川に続き長瀬が第四位。

花絶景ベスト二〇には前述の羊山公園の芝桜と幸手市の権現堂桜堤が入っています。

企業博物館では、さいたま市の鉄道博物館が第一位だそうです。(以上、埼玉県広報誌「彩の国だより」より)

私の故郷、秩父・長瀬はもちろん、埼玉は意外に見応えがあるところだと再認識したところです。